

平成22年度 一般会計補正予算説明資料

8款 土木費
 3項 河川海岸費
 1目 河川総務費

治山砂防課（内線：7385）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
[単県公共事業] 砂防維持修繕費	43,000	95,000	138,000				95,000	
トータルコスト	51,068	95,000	146,068	（補正に係る主な業務内容） 設計・積算業務、監督業務				
従事する職員数	1.0人	0.0人	1.0人					
工程表の政策目標（指標）	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

島根県松江市で発生した豪雨災害を踏まえ、同様の災害を未然に防止するため、県内における急傾斜地崩壊危険区域354箇所について緊急点検を実施。

この点検結果に基づき、緊急に対策が必要な箇所（区分Ⅰ）、詳細な調査が必要な箇所（区分Ⅱ）について、対策工事又は測量調査を行う。

点検結果

		箇所数	備 考
調査対象箇所数		354	県内の急傾斜地崩壊危険区域に指定されている箇所全て
区分			
区分Ⅰ	緊急に対策が必要な箇所	16	例：人家裏斜面に不安定な転石（1m以上）が存在、岩盤剥離等
区分Ⅱ	緊急に対策は必要ないが、今後、詳細な調査が必要な箇所	43	例：人家裏斜面に数十センチの転石が存在、急傾斜施設に小規模なクラック等
区分Ⅲ	当面対策が必要なく経過観察する箇所	120	例：小規模な土砂流出等
区分Ⅳ	異常無し	175	

※転石状況



2 主な事業内容

(1) 既定予算で対応するもの

- ・ 区分Ⅰのうち現在事業実施中の4箇所を除いた12箇所に係る工事費及び測量設計費
- ・ 区分Ⅱのうち9月補正で工事を要求する7箇所の測量設計費

(2) 9月補正で対応するもの

- ・ 区分Ⅰのうち恒久対策を検討する2箇所の調査費
- ・ 区分Ⅱのうち詳細な調査が必要な35箇所の調査費（但し、一部工事可能なものは工事費）

3 これまでの取組状況、改善点

従来は、年次的な施設点検の結果に基づき、緊急性の高い施設について修繕工事を行ってきた。

今回、急傾斜地崩壊危険区域のうち必要な箇所について詳細な調査を行い緊急性が高いと判断された箇所から対策工事を行うことにより急傾斜地の長年の風化作用等に対しても、安全性を確保する。

緊急点検結果による対応方針

		9月補正により対応する箇所	新たに既定予算で対応する箇所	現在、事業実施中等の箇所
区分Ⅰ	箇所数 16	※1 (2)	12	4
	金額	10,000		
区分Ⅱ	箇所数 43	35	※2 (7)	8
	金額	85,000		
合計	箇所数 59	37	19	12
	金額	95,000		

既定予算及び9月補正で対応する箇所総数 47箇所
 9月補正額 95,000千円

備考

- ※1 緊急対策は既定予算で対応するが、恒久的な対策を補正予算で検討する箇所
- ※2 9月補正で工事を行うため、事前の調査を既定予算で実施する箇所
- () 書きの箇所は重複する